

新しい議会、 新しい県庁—自らが変わる

① 県民と共に歩む県議会

県民と共に歩み、「県民の民意の縮図」といえる、市民の声を反映した透明性の高い県議会を作ります。地方主権の時代にふさわしい県議会と、政策本意の選挙制度の確立を目指します。



② 天下り「ゼロ」、外郭団体の徹底した見直し

不正経理の再発防止、公社・外郭団体改革、天下りの廃止など官僚制度を見直し、事業仕分けや予算編成の透明化など、透明性の高い、政治主導の県庁改革に取り組みます。また、財政再建にも取り組みます。

千葉の未来— 子ども達には夢を、若者には希望と仕事を



③ 児童虐待「ゼロ」、保育園の待機児童「ゼロ」

児童虐待「ゼロ」、保育園の待機児童「ゼロ」の県を目指します。児童虐待については、児童相談所の人員体制などの強化、通告義務の徹底、責任の明確化、市町村や県警との連携を強めながら、政府与党に対しては親権の制限などの法改正を促します。保育園待機児童については、保育園の定員増に加え、保育ママや預かり保育、企業内保育園の推進など保育サービスの多様化に努め、県民ニーズにマッチした保育政策を推進します。

④ 子ども達の学力向上

子ども達の学力向上に全力を尽くします。基礎学力の強化により、「公教育」の務めである全体の底上げを目指し、そのために少人数学級やチームティーチング（複数指導）、習熟度別授業、家庭教育への働きかけなど、ありとあらゆる施策を進めると共に、現場の裁量を高めていきます。



亀田病院の新生児ICU

⑤ 地域の中で学ぶ特別支援学校づくり

県内の多くの特別支援学校で、施設の受け入れ能力を超えている過密の状態や、多くの子ども達が1時間以上をかけてバスで通学しているなどの現状があります。特別支援学校や分校・分教室を増やし、地域に密着をした特別支援学校づくりを進めます。

⑥ 雇用の改善、地域経済の復活

今年の大学生の就職内定率は40%（11月現在）、県内の高校生の就職内定率は55%（10月現在）。ここ数年間、経済の低迷が、若い人たちの未来への希望を奪っています。一方、県内の自殺者数は、年間約1300人。県民が希望を持って生活できるための経済対策、特に地域を支える中小企業の経済対策と、雇用対策は、もっとも大切なもののひとつです。